

平群

Heguri



 **議会だより**

12月定例会 No.229
平成23年2月1日

発行：奈良県平群町議会

第6回臨時会(11月)・第7回定例会(12月)

議事結果 3

質疑あれこれ 4～5

町政を問う！ 一般質問 7～13

第1回議会報告会の開催 14～15



1月13日西小学校で行われた西っ子大会、恒例の「大とんど」

さらなる飛躍を



議長 馬本 隆夫

平群町町制施行40周年おめでとうございます。

今年は、町制施行40周年という節目の極めて意義深い年であり、これからの地方の時代、二元代表制の一翼を担う地方議会の果たすべき役割は、一層重要になってまいります。

「地域主権」が叫ばれる今日、平群町議会としては、これからの時代にふさわしい議会のあり方を検討するため、これまで多くの議論を重ね、昨年4月には、「住民が参画できる開かれ

た議会」を推進するため、議会改革・議会活性化を目指し、「平群町議会基本条例」を施行し、その後、町民への説明責任を果たすため、議会懇談会を5回実施、そして12月に平群町中央公民館において「議会報告会」を開催いたしました。積極的な町民のご参加を頂き、貴重な意見を頂戴いたしました。

また昨年9月の定例会においては、本年の一般選挙から議員定数を2名減の12名とすることに決定したところであります。

議会基本条例は、時代が変われども、議会のあるべき姿を示す指針として、大いにその使命を果たすものと思っております。

平群町議会といたしましては、二元代表制の一方として、これまでも行政を監視・牽制するとともに各般の提言を行うなど、その役割を果たして来ましたが、今後も「町民の皆様とのつながり」を大切にし、より皆様の声に耳を研ぎ澄まし、その声を施策に反映することが益々重要になってくると考えております。

町制施行40周年を迎え、議会としても心を新たに行政水準の向上を図り、町民を代表し政策チェックを行い、審議を含め開かれた議会をめざし、なお一層努力を注いで行く決意でございます。

今後におきましても、町議会の改革を引き続き実施し、「住民が参画できる開かれた議会」に邁進していくとともに、町民の皆様の信頼を高めるため、より一層、誠心誠意尽くしてまいる所存であります。

寒中お見舞い

申し上げます



議長	馬本 隆夫
副議長	繁田 智子
議員	戎井 政弘
〃	土井 重尋
〃	岡 嘉道
〃	森田 勝
〃	植田 いずみ
〃	山口 昌亮
〃	奥田 幸男
〃	山田 仁樹
〃	高幣 幸生
〃	窪 和子
〃	池田 研二
〃	下中 一郎

本会議でこんなことが決まりました

第6回臨時会は、11月26日に開催されました。議案は、町長提出の一般会計補正予算（第4号）専決処分承認案、人事院勧告に伴い一般職員、常勤の特別職、教育長の給与月額、期末手当などの改定を行う条例の一部改正案、議員発議による議員報酬等に関する条例の一部改正案、デジタル防災行政無線設備整備工事請負契約締結の議案を審議し、すべて全会一致で原案承認・可決し終了しました。

第7回定例会は12月7日から16日まで10日間の会期で開催されました。

初日、町長提出の一般会計補正予算（第5号）案、下水道事業特別会計補正予算（第2号）案、介護保険特別会計補正予算（第2号）案、公平委員会委員の選任同意案、教育委員会委員の任命同意案が上程され、審議の結果、すべて即日原案可決しました。

一般質問は13日、14日に行われ、13名の議員が町行政全般にわたり質問を行いました。

最終日は、議員発議による意見書（案）が3件上程され、2件は否決、一切れ目ない中小企業支援及び金融支援策を求める意見書（案）は原案可決され、関係行政庁に送付する事を決定しました。

以上で本定例会に付議された議案はすべて議決し閉会しました。

第6回臨時会議決結果賛否一覧 ○は賛成 ●は反対で表示（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

議案名	議決結果	戎井政弘	土井重尋	岡嘉道	森田勝	植田いずみ	山口昌亮	奥田幸男	山田仁樹	高幣幸生	窪和子	池田研二	繁田智子	下中一郎	馬本隆夫
専決処分の承認を求めることについて（平成22年度平群町一般会計補正予算（第4号）について）	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加入しません
特別職の職員で常勤のものの給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
デジタル防災行政無線（移動系）設備整備工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

第7回定例会議決結果賛否一覧 ○は賛成 ●は反対で表示（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

議案名	議決結果	戎井政弘	土井重尋	岡嘉道	森田勝	植田いずみ	山口昌亮	奥田幸男	山田仁樹	高幣幸生	窪和子	池田研二	繁田智子	下中一郎	馬本隆夫
平成22年度平群町一般会計補正予算（第5号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加入しません
平成22年度平群町下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成22年度平群町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
公平委員会委員の選任に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教育委員会委員の任命に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
T P P（環太平洋戦略的経済連携協定）への協議に加わらず、参加しないことを求める意見書（案）	否決	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	
沖縄への新基地建設、全国への米軍訓練移転推進の「日米合意」の撤回を政府に求める意見書（案）	否決	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	
切れ目ない中小企業支援及び金融支援策を求める意見書（案）	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	

質疑あれこれ

12月議会に上程された補正予算の中から主な質疑
応答について報告します

一般会計補正予算（第5号）

今回の補正総額は1億3,523万円で
その主なものは

奈良県市町村振興臨時交付金 5,550万円
国の緊急経済対策事業費 約4,554万円

質問

奈良県下39自治体の
中で27自治体が、財政
力が弱い等の理由で、奈良県市
町村振興臨時交付金がもらえる
ようになったわけだが、この5,
550万円に対して、予算額で
は7,143万円と1,600万
円も上乗せしている理由は何か。
また、この交付金で最も額
が大きい清掃センター施設整
備事業3,850万円は、一
般財源で出す予定をしていた
ものを、この交付金に振り替
えただけではないのか。

答弁

予算措置を執行す
れば入札差金等が出
るので、それを見越した分を
上乗せして7,143万円の
予算計上をした。
最低限5,550万円の交
付額を確保するためである。

財政が悪い市町村に対し
て、地域活性化に向けた事業
に交付されるので、各課でヒ
アリングを行い緊急性・重要
性の高いものを選んだ。

質問

今回、県からの交
付金は、町村では上
牧町に次いで多いが、この交
付金で市町村の振興を促し、
地域の活性化も含まれている
から、町内業者に発注があっ
てもよい。

町内発注はどれ位のパーセ
ント又は金額になっているか。

答弁

清掃センター施
設整備事業（3,
850万円）、情報ネット
ワーク整備事業（350万
円）、国税連携サービス導入
事業（188万円）は町内

発注にならないが、それ以外
の事業（1,162万円）は
地域の業者にも参画してもら
い、町内発注が出来る条件が
あると考えている。

質問

県の交付金で、庁
舎内照明のLED化
に349万円出ている。低炭
素化社会にむけた取り組みが
求められているが、場当たり
的では効果がない。

全体的な構想をもっている
のか。

また、この予算では全庁舎
をLED化は出来ないと思う
がどういう方針で行うのか。

答弁

低炭素化社会に向
けて「地球温暖化防
止実行計画」を立ち上げて、
庁舎内のCO₂削減に向けた取り

質問

防災諸費で、自主
防災組織結成支援
補助金が180万円出ている
が、現在どれだけの自治会が
対象となっているか。

また、今後自治会に防災倉
庫等を設置し、そこに防災に
係る諸品を分散保管し、災害
時に備える町の方向性はある
か。

答弁

現在、4自治会が
既に対象に入ってお
り、あと5自治会が協議中な
ので、併せて9自治会の自主
防災組織を考えている。

防災備品については、必要
最小限のものを町の倉庫にス
トックしているが、大規模な
災害では到底足りないもので、
防災協定をしている企業体か
ら支援を頂くという形で取り
組む方針である。

質問

年金事務取扱費として、電算委託料等75万円が国から出ているが、このシステム構築によって、住民にどのようなメリットが生じるのか。

答弁

年金受給資格に係る役場の資料と、国の資料が合致することの確認を、電算上で処理するための委託料ということです。

この2月から、年金記録問題の再発防止に向けた年金ネットが整備されるのに伴い、自宅のパソコンまたは、役場で年金記録を確認できるサービスが開始される。

質問

障害者福祉費の扶助費が非常に増えている。

例えば介護・訓練等給付費が1,800万円も増額補正されている。

なぜこれほどの大幅増になったのか。

答弁

対象者数が介護・訓練等の給付と併せて20人近く増えている。

また、区分認定の再認定により報酬額が増加したこと

による。

質問

観光費の事業・業務委託料399万円は具体的にどのような内容なのか説明を求める。

答弁

これはふるさと雇用再生特別交付金事業で、22年度で399万円、23年度の債務負担行為で約1,595万円、全体として2,000万円弱の委託料である。

平群町は、観光戦略が明確に位置づけられていないので、総合計画と連携した観光の基本構想、基本計画を策定して行くための業務委託である。

この策定によって、農商工連携や企業誘致も視野に入れて、地域活性化につなげて行きたいという目的である。

質問

国の緊急地域雇用創出特別交付金として、有害鳥獣駆除や観光事業の臨時職員賃金が55万8千円計上されているが、具体的な業務や人数、期間はどのようになっているか。

答弁

有害鳥獣駆除として、アライグマを捕獲した時の処理や、猪の檻の維持管理に、有資格者を1名考えている。

観光事業として、椿井城跡までのハイキングルートの整備で4名を考えている。

いずれも期間は1月から3月まで、予算が付けば次年度も行いたい。

質問

道路橋梁費の3,000万円(国から1,650万円、起債が1,350万円)は、大井手路線など7路線の補修費ということだが、どういう基準で7路線を選んだのか。

答弁

社会資本整備総合交付金は、国の補助55%、残り45%が起債ということで、今回補正予算に計上した。

この7路線を選定した基準は、比較的利用率の高い1級路線、2級路線ということであり、21年度から段階を経て整備をしている。

下水道事業特別会計補正予算(第2号)

事業費 1,682万円の減額に伴い

国庫補助金も減額

比較的新しい住宅地(菊美台、月見台)の污水管について、雨水の浸入量を調査した結果、当初予定した量の雨水浸入がなかったため、予定した污水管改修の測量設計調査委託料が減少する見込みとなったため、事業費の歳出を減額し、併せて国庫補助金歳入を減額する補正となっている。

なっていたが、新制度では5年間の事業計画を出して、5年間で事業を行う、柔軟性を持った予算が組めるということで変更になったと聞いている。基本的に補助率は変更ありません。

また、町単独事業については、今までは交付金が付かなかったものが、総事業費20%を上限として2分の1の交付金が付き、残りは起債対象になるのでメリットである。

質問

公共下水道事業費に対する国庫補助金制度が、22年度から社会資本整備総合交付金制度に変更されたことと報告があったが、どういう理由で変更になったのか。また補助率は変わるのか、町にとってメリットは何なのか。

質問

水道事業に付帯する舗装等の工事は町負担であったが、これはどうなるのか。

答弁

今までは付かなかった路線工事も、2分の1の補助が付きメリットである。

答弁

従来は単年度の事業を申請することに

同意

公平委員会委員の選任に
同意を求めることについて

大塚昭治氏を公平委員会委員に
選任することを全会一致で
同意しました。



氏名 大塚 昭治
住所 平群町鳴川

教育委員会委員の任命に
同意を求めることについて

辰巳健二氏を教育委員会委員に
任命することを全会一致で
同意しました。



氏名 辰巳 健二
住所 平群町梨本

議員提出議案

TPP（環太平洋戦略的経済
連携協定）への協議に加わ
らず、参加しないことを求め
る意見書（案）

提出者 山 口 昌 亮
賛成者 植 田 いずみ

（否決）

沖縄への新基地建設、全国
への米軍訓練移転推進の「日
米合意」の撤回を政府に求め
る意見書（案）

提出者 植 田 いずみ
賛成者 山 口 昌 亮

（否決）

切れ目ない中小企業支援及
び金融支援策を求める意見書
（案）

提出者 窪 井 和 子
賛成者 戎 井 政 弘

岡 井 重 尋
奥 田 幸 男
高 田 幸 生
池 田 研 二
繁 田 智 子

（原案可決）

生駒郡選奨式で 表彰状受賞

平成22年度の郡選奨式が11
月8日斑鳩町において開催さ
れました。表彰状を授与され
た議員は次のとおりです。



植田 いずみ
議員

一般表彰



戎井 政弘
議員



土井 重尋
議員



岡 嘉道
議員

議会懇談会



議会懇談会報告

開催日 10月21日

団体名 平群町長寿会連合会
案件 友愛名簿条例（仮称）
の制定について

所管 厚生委員会

長寿会連合会が推し進める
「友愛活動」のためには、地
域の対象者名簿が必要である
ので、提供されるよう条例の
制定等法的整備と体制構築を
図っていただきたい、との提
案がありました。

（委員長 岡 嘉道）

開催日 12月22日
団体名 青垣サロン
案件 榛原地区農地改良事
業について

議員全員出席

懇談内容は、平群町の自然
環境の保護を行う上で、「榛
原地区農地改良事業」におい
て、町道及び法定外公共物の
使用等の許可を付与するに当
たり、周辺住民の同意を得る
ことを求める決議」に対して
の各議員の意見聴取や、活発
な意見交換をいたしました。
貴重な意見や要望は、今後
町の自然環境をどう守ってい
くか、議会は、精査して行政
に提言したいと思えます。

（議長 馬本 隆夫）



町政を問う！ 一般質問一覧

奥田 議員	1. 近鉄生駒線を利用するようPRしてはどうか 2. 農地、野球場造成工事の進捗について 3. 平群駅西特定土地区画整理事業について	岡 議員	1. 平群町土砂条例の運用と見直しについて
		森田 議員	1. 都市計画道路「平群西線」について 2. 農地造成「農園天国」について 3. 小学校再編成計画について
下中 議員	1. 平群町の新たな観光戦略について 2. 地域ぐるみの文化財の保全と継承について	池田 議員	1. 発注工事検査等における技術職員の必要性
		山口 議員	1. 粗大ゴミの収集と処理について 2. 高すぎる国保税の引き下げを 3. 椿井橋交差点の渋滞解消について 4. 春日丘の背割り下水管の改善に援助を 5. コミュニティバス拡充での提案 6. 共同浴場「若葉湯」の存続を
高幣 議員	1. 町発展の原動力になる人口と歳入について 2. 幼稚園と保育所一体について 3. 文化センター構想について	土井 議員	1. 少子化対策への取り組みについて
		植田 議員	1. 子宮頸がん等予防3ワクチンの助成拡充、助成制度創設について 2. 第5期介護保険事業策定について
繁田 議員	1. 法令遵守について 2. 地域公共交通の維持・再編について 3. ゴミ減量に向けて	山田 議員	1. 平群町の道路行政について 2. 小学校再編成について2校案は再考するべきでは
戎井 議員	1. 小学校再編成アクションプランについて		
窪 議員	1. コミバス運行の利便性拡大について 3. 広告付き窓口封筒で経費削減を 実施について		2. 春日丘の防火水槽設置について 4. 妊婦検診14回助成の継続とHTLV-1抗体検査の 5. 子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの全額公費助成を



奥田 幸男

近鉄生駒線を利用する ようにPRしては

質問

全国的に少子高齢化による人口減少、道路事情がよくなり、モータリゼーション化によるマイカー通勤のため、電車の乗降客が少なくなっている。私が心配している事は二両編成になり、運転間隔が15分から30分

になること、万が一廃線になった場合、平群駅もなくなり、平群町の目玉事業である区画整理事業も存在しなくなる。こんなことにならないためにも、また、地球温暖化防止の面でも、電車の利用を啓発せよ。

答弁

生駒線の利便性向上のため鉄道事業者へ粘り強く要望を続ける。

また、利用者を増やす方策は平群駅周辺整備事

業や都市計画マスタープランの具体化など街づくりの諸施策を着実に進める事や、地球温暖化対策として近距離移動には徒歩又は自転車、公共交通機関の活用、公共交通機関の利用促進があげられる。

現在策定中の「平群町公共交通総合連携計画」の中でも公共交通機関の利用促進を図るため、チラシ、ポスターによりPRする計画である。



平群町の新たな 観光戦略について



下中 一郎

質問

平城遷都一三〇〇年祭の節目の年が過ぎた後も、より多くの方に平群町へ来て楽しんで頂き、町の賑わいを作りだすような新たな観光施策が必要です。

「観光基本構想」を策定するにあたり、本町の観光戦略の中心核を何に求めるのか、来られる方と受け入れる地域や地域住民が一体となり、町の活性化につながる戦略を考えるべきではないか。

答弁

平群町が目指すべき観光戦略として、これまでの神社仏閣や古墳などの名所旧跡を見学するだけでなく、商業施設での買い物や飲食、イベント参加や歴史の



学習など多彩な平群町の魅力を楽しめる都市型観光を目指す戦略を考えています。

「観光基本計画」策定段階で、観光と農・商・工連携、そして平群町の風土にマッチした観光地としての地位を確立し、地域住民が主体性をもって、町の魅力を発信できるように町づくりを目指す、地域の活性化につながるような取り組みを考えています。

町発展の原動力になる 人口と歳入について



高幣 幸生

質問

本町の安定成長には人口と歳入が大きな原動力です。町長在任約4年間で人口は277人減少、町税減収は約5%です。税と密接に関係する人口対策をどう考えているか。町財政の安定と人口は町の存続の第一条件です。

町長の23年度以降の町税増と人口増の具体的政策は？
また、学校再編による

答弁

跡地は大学や専門学校の誘致も考えるべきではないか。

町の活性化と人口増は、現在進める駅周整備の早期実現やバイパス沿いの線引き変更で企業誘致を進め、

又、小学校再編により、子供達の教育環境の充実です。

次に幼保一体化と、子育て支援を充実させ、若者の流入する施策を行いたい。

学校再編の跡地利用では大学、専門学

校誘致も一つの提案であり、新しい展開に期待が出来る。

その他、観光や公共交通等の環境整備により活性化、人口増や税収の確保に繋ぎたい。今後も財政は非常に厳しいと覚悟し慎重に運営したい。



ゴミ減量に向けて

質問

11月のマイタウン平群に折り込みをされた「ゴミ減量化に向けて」住民説明会」の報告に関して3点お訊きします。

①ごみステーション整備に関する補助金、カラス対策ネット配布の実施とありますが、具体的にどうされるのですか。

②高齢者などの世帯に対する個別収集とありますが、その基準はどのようにされているのですか。

でしょうか。

③いきなり指定制度を実施して混乱しないために、地域を限定してモニタリングしてはどうでしょうか。

答弁

①カラス対策ネットは無償で配布し、かごなどを整備される場合は、一定上限を設けて費用の2分の1を補助していきたい。

②高齢者や障害のある方については事前に申請をしていたいただき調査をして決めたいと考えている。

③モニタリングは考えていないが、指定袋に慣れていただくことも考慮して、無料の施行期間を設けていこうと考えている。また、資源ごみのステーション回収を行っていきたい。



小学校再編成 アクションプランについて

質問

当町では数年先に、ある小学校では新しく入学する生徒が10人を割ると聞く。6年間クラス替えがないことになる。これでは平群の子供達の教育環境が適切とは云えない。26年度からの開校予定と聞くが、もっと早めるべきである。

①アクションプラン説明会で出た意見について、どう対応しようとしているのか。

②学校単位で説明会等開催したか。そこで出たご意見は?

③26年度開校を早める可能性はあるか。

答弁

①3回の説明会で様々なご意見を頂き、真摯に受け止め参考にさせて頂く。但し「4校を2校に再編成する」「A小学校は現北小校舎を

「一旦、3校にしては」等沢山の貴重なご意見は頂いたが、柱はぶれないとのスタンスで丁寧に説明した。

③まだ細部の検討を要し開校前倒しは困難。



子宮頸がん・ヒブなど ワクチンに全額助成を



窪 和子

質問

子宮頸がん予防ワクチン等について、私は3月議会・6月議会そして9月議会で一般質問し要望する中、平成22年10月から『中学3年女子対象に接種費用の半額助成』を実施しています。

さらに11月末には、公明党が国に強く主張する中「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金」として国が助成する事が決定となり県に基金が設置され、子宮頸がん予防・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの3種のワクチンの接種費用に

対して、国が二分の一負担し、残りの二分の一を市町村が負担（地方交付税措置）し、町の事業に助成をします。また、今回の国の予算では中学



答弁

1年から高校1年までを対象としており、この予算をしっかりと活用し、本町において中学1年から高校1年女子に全額助成し「子宮頸がんゼロ」をめざして積極的に取り組むべきと考えますが、町長のお考えを伺います。

国費をしっかりと活用し、町民・子どもの命を守るため全額助成したい。

質問

先の住民説明会に於いて、櫛原農地改良事業に関する一住民の質問に対する答弁の中で、町長は、今後この様な事業が続発することが無い様に見直し、規制の強化に乗り出すと明言されました。

そこで、以下の3点につきお伺い致します。

①見直しの対象となる項目を具体的にお示し下



岡 嘉道

平群町土砂条例の 運用と見直しについて

答弁

- ① 広く各方面の方々の意見を取り入れ、土砂条例全般の見直しを検討中。
- ② 見直しのポイントは、実効性の強化と罰則の強化であり、環境破壊防
- ③ 関連のある他の条例も、見直しの対象とするのか。
- ④ 条例改正の時期は何時ごろですか。

- ① 止のための規制強化・安全基準の明確化等である。
- ② 対応が必要と判断すれば、当然関係法令も改める。
- ③ 只今、検討中であり、条例改正の時期の明言は出来ない。



小学校再編計画について

質問

小学校の再編成は、町の10年、20年先を見据えた町づくりとして大切に重要である。そこで、

(1)再編成計画は、再編成検討委員会の答申(ベース)、①投資が必要。②教育環境の格差をなくす。を無視した、似ても非なるものになっているが?

(東小に統合した場合の問題点を指摘・割愛)

(2)南小の存続を求めた陳



森田 勝

答弁

情書の取扱い、統廃合に関する文部省通達で地域住民との合意形成が求められているが?

(3)幼稚園の移転先は?

(1)答申の2つの案と違っている

が、厳しい財政事情で、提言の主旨を最大限に尊重し、責任を

持って実現できるプランである。中央公園の一部に新設校を建設する事は財政事情等で困難である。

(2)陳情書の思いを受け止め、先生、保護者、地域住民と検討部会等を

立上げて、合意形成に取り組みたい。

(3)はなさと保育園は現施設のままで幼保一体施設に、また再編に伴う跡地を幼保一体施設の候補地として考えている。



発注工事検査等における技術職員の必要性

質問

技術職員の適正な配置によって、監督・検査体制を充実させれば工事の安全確保と完成後の事業の円滑な運用が可能になり、また万一の事故発生を未然に防ぐことに繋がると考えられる。そこで次の質問を行います。

①監督員・検査員の資格はどのようになっているのか。

②当該職員では対応が困難な事業の場合はどうするのか。

③総合評価方式による入札の検討について。

④次年度には技術職員の採用をすべきでは?

答弁

①監督員、検査員は地方自治法等にその職務は定められているが、技術的な資格は特に必要

ない。

②このような工事に対して平群町は施工管理を委託している。検査については監理課が行い、委託はしていない。

③平成20年度の下水道工事入札で簡易型の総合評価方式で実施した。評価基準の策定は県の指導によって行った。技術職員は必要である。

④次年度は技術職員の採用は予定していないが、引き続き検討する。



高すぎる国保税の 引き下げを



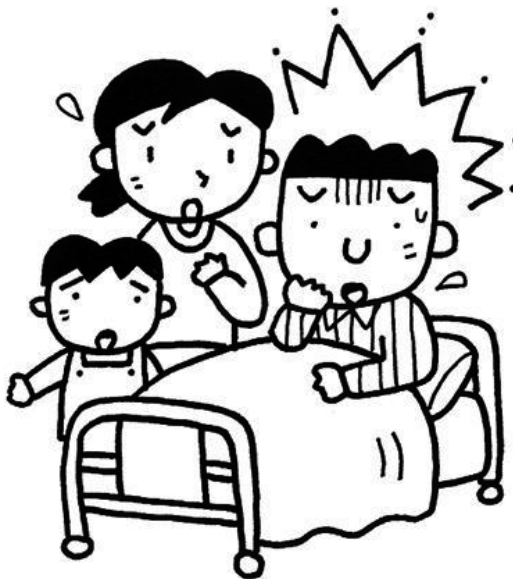
山口 昌亮

質問

国保税について、岩崎町長は平成20年度、国の医療制度変更に乗じて加入者一人平均2万円、総額で1億2000万円、以上もの増税を強行。そして、これだけ増税しても単年度7700万円の赤字になるという国保会計予算を提出した。

しかし、実際の決算では、平成20、21年度の2年間で1億3200万円の黒字。これは町長らの説明と20年度の国保会計予算編成が間違っていたことを物語っている。

町長は、増税が間違



いだったことを率直に認め、少なくとも21年度末の国保会計の累積黒字5450万円については加入者に還元するか、来年度から引き下げるべきだ。

答弁

国保財政は、単年度だけでなく、本格的な高齢化の到来に備えて、安定的な財政運営に取り組んでいる。今後も高齢化の加速などで、厳しい財政状況が続くと推測している。以上のことから、国保税の引き下げは非常に困難と考えている。

少子化対策への 取り組みについて



土井 重尋

質問

少子化問題にどのような方法で取り組んでいるのか、本町の考えをお尋ねいたします。

答弁

平群町で行っている子育て支援事業では、保育サービスの充実という面で、町立保育園2園で実施している早朝延長保育、障害児保育、保育料軽減及び細分化。はなさと保育園での一時預り事業、子育て支援センター

の運営。医療費助成では乳幼児や母子医療助成制度があり、更に本年度より子ども安心基金の地域子育て創生事業の適用を受け、子育て支援センターの充実を図っている。

保育の実施、放課後子供教室等少子化対策の関連事業を行っている。平群町としても少子化対策は重要課題であり、ハード、ソフト面からの充実が必要と考えている。

又、平群幼稚園、南保育園の老朽化に伴う建て替えの必要性から、幼保一体化施設の調査研究を行っている。

次に母子保健医療体制の充実、乳幼児家庭全戸訪問、養育支援訪問事業がある。

そして教育の面では学童





植田いずみ

質問

これまでも少子化対策の一環・子育て支援策の一つとして子どもの健やかな成長の応援のため、子宮頸がん予防ワクチンを始めヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの助成制度を求めています。

子宮頸がん等ワクチンの

拡充・創設について



答弁

市町村の負担分も助成する（交付税措置）としています。

国の助成対象者（23年度末までの実施）に対し、今年度から対応すること。

また、子宮頸がんは来年度から集団接種ができる体制も整えることが必要ではないでしょうか。

3種ワクチンについては、子ども達の命を守る観点から今回の制度をしっかりと今年度から活用していきたい。

集団接種の体制については検討していきたい。

小学校再編成について



山田 仁樹

質問

現計画について反対署名が789筆、南小学校の児童数の5倍近くが集まっている結果からも、考え直す必要があるのではという観点からお聞きします。

11月7日号

まんべん通信で『4校を2校に再編する事になりました』と掲載されているが、住民との合意形成は出来たのか？

議会の議決や町長選挙などによる民意の確認が必要となるのでは？

現再編成計画は、まちづくりから見て逆行している。南小学校区に今後住居を求める人にとって現計画は魅力がなく、人口が減る施策である。校区の見直しも含め再考すべきでは？

自然豊かな環境の中、体育館・グラウンド・プー



答弁

ル等がある、現西小学校付近を教育ゾーンの拠点とし、（仮称）中央小学校を新設し、北・南・中央小学校の3校相互に交流を深められる、将来に夢が持てる教育環境整備構想はいかがか？

合意形成は出来つつあると理解している。校区の見直しによる再考は困難である。



議会報告会を開催

12月18日(土) 午後7時より、中央公民館大ホールで「議会基本条例」に基づいて第1回の議会報告会を開催しました。

馬本議長から開会の挨拶があり、続いて3つのテーマについて報告が行われました。

最初に「議会基本条例について」議会改革特別委員会高橋委員長より報告があり、続いて、「議員定数削減について」議員定数削減検討特別

委員会高橋委員長より報告され、最後に、決算審査特別委員会戒井委員長より「21年度決算報告」が行われました。

5分間の休憩後、1時間の予定で質疑応答に移りました。

参加者の皆さんから活発な発言があり、大変厳しい意見もいただきました。

特に「議会報告会としては参加者が少なすぎる」とのご批判に議員一同、切実に受け止めました。

次回開催に向けて工夫を重ね、1回目よりも2回目、2回目より3回目…と、住民の皆さんの参加が回を重ねる毎に増えて行くような議会報告会を目指す必要を痛感したところです。

繁田副議長の閉会の挨拶で第1回議会報告会は終了しました。

質疑応答の概略

①議会基本条例について

質問

議会基本条例を立ち上げる前に、北海道栗山町にわざわざ行かれて自費研修されたとのことだが、これは議会費等から出ないのか。

答弁

平群町の財源が厳しい中、議会費の予算の枠内で北海道までの旅費を出すことよりも、我々の自主研修と思っ

て行き、大変勉強になりました。一番寒い1月に行ったので降りたらすぐ雪で、今度は飯田市に行ったら丁度雪の日で、議会基本条例は雪の中で出来たのかなと思う。

②議員定数削減について

質問

アンケート結果は削減の大きな根拠になっているが、集約数は838名で、全有権者の5%にも満たない。

これで全町の声だという根拠付けはオーバーではないか。

また、平群町の法的な議員定数は20数人と聞いている

が、現在の議員数はそれよりはるかに少なく、これを更に減らすのは如何なものか。

一定の民意を反映するためには、必要な議会費とか歳費は民主主義のコストとして必要である。

答弁

議員定数削減検討特別委員会では、議論を行ってきたが、削減は議員発議で行うべきものとして、削減については決めていない。

結果的に先程の数字になりましたが、実態的には、有権者数1万7千人の5%でアンケートを採っている。

アンケートのとり方は非常に難しい。



③21年度決算報告について

質問

国民健康保険特別会計の黒

委員会調査報告

公共交通対策特別委員会

10月21日

案件

「平群町地域公共交通連携計画」作成検討について

平群町地域公共交通会議の報告を受け、計画について協議しました。

(委員長 戒井 政弘)

厚生委員会

11月10日

案件

「友愛名簿条例(仮称)」の検討について

10月21日開催された議会懇談会で平群町長寿会連合会より提案のあった「友愛名簿条例(仮称)」について、関係する4課(総合政策課・総務財政課・住民生活課・福祉課)の担当者出席を得て、各課での個人情報取り扱いにつ



平群町議会 初の

字が5,400万円が一番多い。何とか保険料を下げられないのか。

答弁

特別会計に賛成した立場で

の答弁…後期高齢者医療制度が出来て、75歳以上の高齢者を支える支援金分の保険料が、平群町では一人当たり約2万円アップしたが、仮にこれを1万円引き下げれば財源は約6,000万円必要で、600万円の赤字になる。

今、値下げをすればようやく黒字化した特別会計が赤字になるという危惧があり、もう少し黒字化が安定したときには、住民の負担を下げることも考えるべきだと思います。

特別会計に反対した立場で

の答弁…老健制度が後期高齢者医療制度に変わったので、基本的には負担は変わらないと国は説明していたから2万円上げる必要はなかった。現

に、19年度末の赤字7,700万円を全部清算して、なおかつ5,450万円の黒字だというのが国保会計の実態である。生活は苦しく、少しでも下げたいという思いがある。

④その他

質問

最近「議会だより」がカラー版になり、だいぶ分かりやすくなった。

このような報告会があるのも更によく分かるようになるが、今後「議会だより」は予算を減らす予定はあるのか。

答弁

カラーの良さを理解してもらい、より分かりやすく、読み易い「議会だより」を目指し、編集して行きたい。

経費が高いからといって白黒に戻すことは当面考えていません。

質問

結論でなく一問一答の経緯が分かるように、また、議会に行けない人が読んで分かるような「議会だより」でないと意味がない。

「決算報告」も経緯が分かるよう説明しないと、資料を読むだけでは報告会にならない。

答弁

紙面が限られている中で、質疑の経緯や決算報告の細かい内容まで「議会だより」に載せることは難しい。

今後、議会報告会資料については、分かりやすくしていきたい。

議会報告会アンケート結果										*各項目に重複回答あり（単位：人）		
年 代 別	30歳代 1	40歳代 1	50歳代 4	60歳代 1	70歳代 4	80歳以上 1	合計12（男10 女2）					
本日の議会報告会について	わかりやすかった			8	どちらともいえない		4	わかりにくかった		1		
説明時間について	長かった			2	ちょうど良かった		10	短かった		1		
説明資料について	わかりやすかった			8	どちらともいえない		4	わかりにくかった		1		
議会報告会の評価について	評価する			10	どちらともいえない		2	評価しない		1		
今後の報告会について	曜日はいつがよいですか			土曜日		10	日曜日		1	土日以外	0	
	時間帯はいつがよいですか			午前中		3	午後から		4	夕方	3	その他

いて現状報告を受けました。

(委員長 岡 嘉道)

議会運営委員会

10月29日・11月10日

案件

議会報告会の開催について

議会報告会開催内容、当日の運営方法、役割分担、資料づくりの協議を行いました。

11月25日

案件

平成22年平群町議会第7回定例会の運営について

会期の内定、議事日程等について審議を行いました。

(委員長 池田 研二)

駅周辺整備事業特別委員会

12月21日

案件

平群駅西土地地区画整理事業の進捗について

進捗状況の説明を受け、質疑応答、問題について協議を行いました。

(委員長 奥田 幸男)

町 の 話 題

梶原の勧請縄掛け



梶原の勧請縄掛けは、金勝寺の縁起と深いつながりがあり、その昔勧請場に住む龍神が、白髪の老人に化身して行基菩薩をこの地に迎え金勝寺を建立されたと伝えられており、大正の末頃まで龍穴が残っていたが、鉄道敷地となってつぶされたそうです。

龍神に関連して、おんづな（雄綱）とめんづな（雌綱）の2本を作り、おんづなには龍の足や爪を意味する2本の足がつけられています。龍神は水の神様といわれ風水害から作物や村の人々を守り、また、男女の立派なシンボルをつけているのも子孫繁栄を祈願する意味がこめられているそうです。

町内でも最大、且つ古式通り作られている伝統行事で、これからも子孫に伝承して大切に保存して欲しいものです。

この行事は毎年1月3日、金勝寺境内で行われます。

生駒郡町村議会議員研修会

「勝つ選挙 その思考と手法」と題して

講師

選挙コンサルタント

プロジェクトウイズ 代表 渡辺 強 氏

昨年の10月18日、安堵町福

した。

社保健センターで生駒郡町村

議会議員研修会が開催されま

ます。そのことを視野に置きながら選挙行動を的確に把握し、運動をどのように展開して行くか、具体的事例も挙げながらプロの立場から講演がありました。

議員一人ひとりにとって直接関連する事柄であり、強く印象に残る講演となりました。（議会運営委員長 池田 研一）



編集後記

昭和46年2月1日の町制施行以来、今年でちょうど40周年になります。

明治村、平群村そして平群町と時代の移り変わりとともに、町の様子も大きく変わりました。

この先10年後、20年後にも平群町に住んで良かったなあと語り合えるように、明るく、希望のあるふるさとを願うものです。

思い起こせば、町制施行の前年は、大阪万博が開催され、日本中が活気に満ちあふれていました。

今年こそ、あの時の元気を呼び戻し、大切な未来に向かってともに力を合わせ、力強く歩み出そうではありませんか。

（中 記）